都市再生整備計画　事後評価シート

古賀中央地区

平成30年3月

福岡県古賀市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	古賀市	地区名	古賀中央地区	面積	21ha
交付期間	平成24年度～平成28年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	2,084百万円	国費率	0.5

1）事業の実施状況

区分		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路（市道五楽36号線、市道五楽42号線、市道五楽44号線・庄46号線）、高質空間形成施設（屋外トイレ、市道古賀駅・五楽線アーケード）、高次都市施設（生涯学習センター（地域交流センター）、サンフレアこが（地域交流センター））、地方都市リノベーション推進施設（サンフレアこが（市立図書館））
	提案事業	－

区分		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	高次都市施設（サンフレアこが（地域交流センター））	施設利用計画見直しの結果、整備を実施しない方針となったため事業を削除	影響なし
	提案事業	－	－	－
新たに追加した事業	基幹事業	道路（市道久保線）、地域生活基盤施設（サンフレアこが（エレベーター耐震化）、リーパスプラザ（天井耐震対策））	周辺道路の安全性・利便性向上、また現耐震基準を満たすよう事業を追加	影響なし
	提案事業	－	－	－

交付期間の変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響
	当　初	平成24年度～平成28年度	－
	変　更	－	

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

	指　標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値（モニタリング）	数値（評価値）	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	(仮称)生涯学習センター(地域交流センター)の利用者数	人／年	145,000	H23	160,000	H28		174,852	○	あり／なし	施設機能の充実に加え、施設間を渡り廊下で連結したことによる回遊性の向上、駐車場やアクセス道路整備による安全性・利便性の向上が利用者数の増につながった。	－
指標2	(仮称)生涯学習センター(地域交流センター)に対する満足度	%	13	H19	30	H28		33.7	○	あり／なし	子どもから高齢者まで気軽に利用できる、開かれた施設づくりと、利用者ニーズを踏まえた快適な学習環境が提供されたことにより、満足度の向上につながった。	－
指標3	生涯学習機会の提供に対する満足度	%	8.4	H19	17	H28		18.6	○	あり／なし	生涯学習推進ゾーン内施設の再配置、管理運営体制の一元化を図ったことにより、趣味・教養講座、生涯スポーツ・レクリエーション、文化・芸術等の活動がしやすい環境が整い、満足度の向上につながった。	－
指標4	サンフレアこが(図書館)の利用者数	人／年	125,000	H23	135,000	H28		102,815	△	あり／なし ●	利用者数は減少し目標値には及ばないものの、増床他整備を機に、新たに利用登録する者の増加が見られており、近隣にも見られる「図書館離れ」傾向も勘案すると、減少率としては少なく抑えることができた。	－

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

	指　標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値（モニタリング）	数値（評価値）	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	(仮称)生涯学習センター開業を機に、新たに登録した定期利用団体登録数	団体／年	404	H27	／			380	／	／	子どもから高齢者まで気軽に利用できる開かれた施設づくりと、利用者ニーズを踏まえた快適な学習環境が提供されたことにより、従前値(既登録団体数)とほぼ同程度の新たな団体の利用登録につながった。	－
その他の数値指標2	サンフレアこが(図書館)の利用登録者数	人／年	1,797	H23	／			1,880	／	／	増床他整備に加えて、施設間を渡り廊下で連結したことにより回遊性が向上し、新たに利用登録する者の増加につながった。	－

4）定性的な効果発現状況

本事業は、「第12回まち交大賞　まちづくりシナリオ賞」を受賞。テーマの設定、まちづくりのアイデア、計画策定の プロセスの3つの観点において特徴があり、先導的なまちづくり事業として認められた。

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	平成25年度に、建て替え前のリーパスプラザ研修棟利用者を対象にアンケート調査を実施し、利用者のニーズを過不足なく満たす施設機能を選定した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた		引き続き、利用者の声を収集し、施設の使い勝手の向上に努めていく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	・平成24年～28年度に開催した公民館運営審議会において、施設整備計画の立案、進捗状況等の報告を実施した。 ・平成27年度に、施設への興味関心を深めると共に完成後に積極利用しようとする動機付けを図るため、建築現場見学会を開催した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた		今後も学識経験者や市民・利用者からの意見を聞く機会を設け、市民参画を推進し、開かれた施設運営を目指していく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	－	都市再生整備計画に記載し、実施できた		－
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式２－２　地区の概要

古賀中央地区（福岡県古賀市）　都市再生整備計画の成果概要

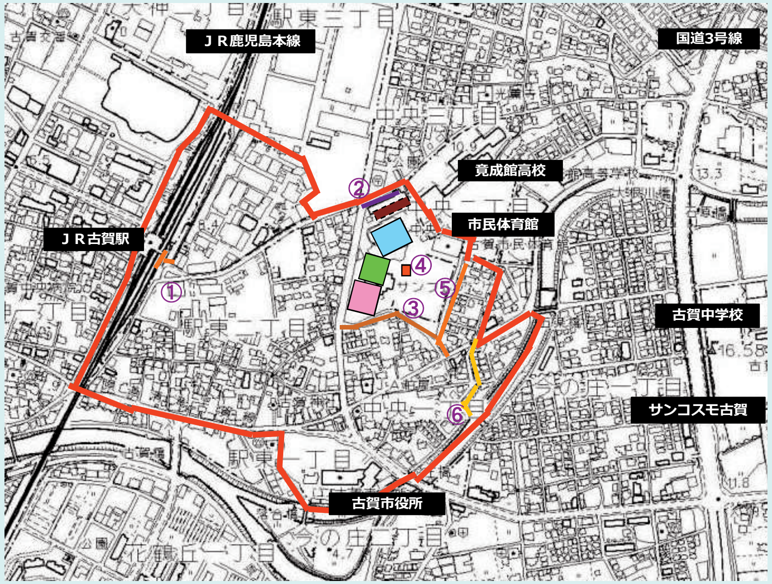
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
生涯学習推進ゾーンを整備することにより、市民の生涯学習活動を活性化し、こころ豊かに学び続ける人を育て、人や地域がつながり支え合うまちづくりを進める。 ・公共交通の利用と連携した中心市街地の活性化 ・各年代の市民の生涯学習の核となる集い・学び・交わりの場の提供 【（仮称）生涯学習センター（地域交流センター）】 ・市民への安全、快適な利用環境の提供 【駐車場整備、進入路・周辺道路整備、施設配置の見直し、既存施設の耐震化推進】	(仮称)生涯学習センター(地域交流センター)の利用者数	単位：人／年	145,000	H23	160,000	H28	174,852	H29
	(仮称)生涯学習センター(地域交流センター)に対する満足度	単位：%	13	H19	30	H28	33.7	H29
	生涯学習機会の提供に対する満足度	単位：%	8.4	H19	17	H28	18.6	H29
	サンフレアこが(図書館)の利用者数	単位：人／年	125,000	H23	135,000	H28	102,815	H28

■基幹事業【地域生活基盤施設】
リーパスプラザ天井耐震対策

■基幹事業【高次都市施設】
(仮称)生涯学習センター(地域交流センター)整備

■基幹事業【地方都市リノベーション推進施設】
サンフレアこが(図書館)増床

■基幹事業【地域生活基盤施設】
サンフレアこがエレベーター耐震化



①基幹事業【高質空間形成施設】
市道古賀駅・五楽線アーケード整備

④基幹事業【高質空間形成施設】
バリアフリー対応公衆トイレ

②基幹事業【道路】
市道久保線改良

⑤基幹事業【道路】
市道五楽36号線改良

③基幹事業【道路】
市道五楽42号線改良

⑥基幹事業【道路】
市道五楽44号線・庄46号線改良

●関連事業【効果促進事業】
・(仮称)生涯学習センター連絡通路整備事業
・リーパスプラザ出入口整備事業
・(仮称)生涯学習センター駐車場・外構整備事業
・サンフレアこが設備整備事業(空調、照明設備)
・JR古賀駅東口周辺土地利用基本構想策定業務
・地域防災対策調査業務

まちの課題の変化	【達成されたこと】　≪リーパスプラザ研修棟の老朽化・機能低下対策、再構築≫ 既設ホール棟とサンフレアこが(図書館・歴史資料館)の間に移転建替えを行い、渡り廊下で連結し回遊性・利便性を高めると共に、利用者ニーズを踏まえた快適な学習環境が提供された。 ≪サンフレアこが(図書館)蔵書スペースの狭隘化対策≫ 150㎡の増床による図書資料の充実に加え、照明・空調設備の更新により、快適な学習環境が構築できた。 ≪生涯学習推進ゾーン周辺の道路における利便性、安全性確保のための交通環境の整備≫ 狭隘道路の拡幅や歩道の設置、道路下地中雨水排水路の整備等により、公共施設等へのアクセス、生活道路の安全性・利便性が向上した。 ≪リーパスプラザ内大ホール天井及びサンフレアこが内エレベーターの耐震対策≫ 構造・機能を現在の耐震基準に適合させ、地域の防災機能を高めることができた。 【残された未解決の課題】≪サンフレアこが(図書館)の利用促進≫ 一定の整備は完了したものの、増床他による効果がすべて出ているとはいい難い面もある。今後も利用者からの要望や運営側が把握している課題等を調整し、利用促進につなげていく。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	≪生涯学習センター(地域交流センター)利用率の向上、各種イベントを通したにぎわいの創出≫ 整備した施設の維持とサービスの向上を図ると共に、魅力あるイベントの開催や生涯学習活動の情報発信。利用団体や地域住民の声を管理運営に反映させ、市民に愛着を持たれる施設をめざす。 ≪サンフレアこが(図書館)利用率の向上≫ 引き続き案内機能の強化を図っていくと共に、図書資料の更なる充実・情報発信、講演会・講座の開催、各施設と連携した活動の推進、更には開館時間の延長検討等に取り組んでいく。 ≪生涯学習推進ゾーン内、各施設や関係機関の連携による利用活性化≫ 貸し部屋、フォーラム・ギャラリー等共有スペース、市民体育館、市民グラウンド等の施設利用や、生涯学習推進課、文化課、市民活動支援センター他関係機関の連携運営を強化することで、更なる利用者誘導を図り活性化に努めていく。